

2022
ズバリ! 的中



古文

岐阜大学

紫式部日記の本文がそのまま的中!

入試問題

前期日程
古文 二

河合塾

高3 1期
高3古文TJ 第6講 [6]

〔三〕 次の文章は『紫式部日記』の一節で、藤原道長の孫の「御五十日」(全藤五十日の祝ひ)の様子を記した部分です。よく読んで後の問いに答えなさい。(配点は率30%)

左衛門の誓い「あながた、このわたりだ、若狭やさるあふ」と、うかがひたまふ。藤原に似るべき人も見えなはぬが、かの上は、まじりていかでものしたまはむと、聞きむたり。二位の誓い「かばらけ敷」などにも、侍従の誓いも相立して、内大臣のおはすれば、より出でたるを見て、大臣おそろしがるべき夜の御静ひなめりて、ことづつるまはた、宰相の君にいひあはせて、隠れなむとて、東面、殿の君きみ、宰相の中侍なりと入り、さわがしければ、二人御静のうしろに隠れなむと、とりはらはせたまひて、「いながらいへ入探させたまへり」と、和歌ひとつて任うまつれ。さらば新さむとのたまはす。いとほしくおそろしければ問へぬ。

いかにいかがかぞへやるべき八千歳のあまり久しき君が御代みよはば、

「あはれ、仕うまつれるかな」と、ふたたびばかり静せさせたまひて、いと疾うのたまはせたる。

宰相の御静いも御心地こころぢに侍、おぼしむるのさまなれば、いとあはれだ、ことわりなり。さばかり静ひたまへる御心地こころぢに侍、おぼしむるのさまなれば、いとあはれだ、ことわりなり。

「一宮の御前、聞こしめすや、仕うまつれ」と、われめしたまひて、「まろがむすめに仕うまつるべしおほします。母もまた幸ひありと願ひて、笑ひたまふめり。よらとごは侍りか」と、思ひたためり、「たはふれにえたまふも、ごなき御静ひのまきなりと見ゆ。さるごなきなれば、さわがしき心地こころぢはながら、めでたくのぞ。聞きませたまふ殿の上、聞きてくはほす。わたらせたまひぬるけしきなれば、おくもすして、母うらみたまはむのぞ」と、いとほしくおそろしければ問へぬ。親のあればこそ、子もかしてはれ」と、うちうききたまはせ、人々笑ひきこゆ。

〔6〕 左の文章は「紫式部日記」の一節で、藤原道長の孫の「御五十日」(全藤五十日の祝ひ)の様子を記した部分です。よく読んで後の問いに答えなさい。(配点は率30%)

左衛門の誓い「あながた、このわたりだ、若狭やさるあふ」と、うかがひたまふ。藤原に似るべき人も見えなはぬが、かの上は、まじりていかでものしたまはむと、聞きむたり。二位の誓い「かばらけ敷」などにも、侍従の誓いも相立して、内大臣のおはすれば、より出でたるを見て、大臣おそろしがるべき夜の御静ひなめりて、ことづつるまはた、宰相の君にいひあはせて、隠れなむとて、東面、殿の君きみ、宰相の中侍なりと入り、さわがしければ、二人御静のうしろに隠れなむと、とりはらはせたまひて、「いながらいへ入探させたまへり」と、和歌ひとつて任うまつれ。さらば新さむとのたまはす。いとほしくおそろしければ問へぬ。

いかにいかがかぞへやるべき八千歳のあまり久しき君が御代みよはば、

「あはれ、仕うまつれるかな」と、ふたたびばかり静せさせたまひて、いと疾うのたまはせたる。

宰相の御静いも御心地こころぢに侍、おぼしむるのさまなれば、いとあはれだ、ことわりなり。さばかり静ひたまへる御心地こころぢに侍、おぼしむるのさまなれば、いとあはれだ、ことわりなり。

「一宮の御前、聞こしめすや、仕うまつれ」と、われめしたまひて、「まろがむすめに仕うまつるべしおほします。母もまた幸ひありと願ひて、笑ひたまふめり。よらとごは侍りか」と、思ひたためり、「たはふれにえたまふも、ごなき御静ひのまきなりと見ゆ。さるごなきなれば、さわがしき心地こころぢはながら、めでたくのぞ。聞きませたまふ殿の上、聞きてくはほす。わたらせたまひぬるけしきなれば、おくもすして、母うらみたまはむのぞ」と、いとほしくおそろしければ問へぬ。親のあればこそ、子もかしてはれ」と、うちうききたまはせ、人々笑ひきこゆ。

○男
○女
○上
○下
○か
○あ
○ま
○お
○か
○あ
○ま
○お
○か
○あ
○ま
○お
○か
○あ
○ま
○お